

都道府県・ 政令指定都市名	静岡市
------------------	-----

1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総合的に所管する組織

局部課(室)名	総務局 企画部 男女共同参画課
局部長名	(職名) 総務局長、企画部長
課(室)長名	(職名) 男女共同参画課長
担当職員数	5 名 (専任 5 名、兼任 0 名)

2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名称	静岡市男女共同参画推進会議		
設置年月日・根拠	平成 15 年 4 月 23 日 根拠: 静岡市男女共同参画推進会議設置要綱		
構成員 (役職名)	長: 市長 副: 助役 メンバー: メンバー: 推進会議(市長ほか局長等 計17人)、幹事会議(関係課長 計26人)、担当者会議(幹事会議関係課担当 26人)、男女共同参画推進員(各課課長 計178人) (計 221 名)		
活動状況	16年度 実績	5 / 14 内容: 行動計画評価(評価指標)を検討するにあたり行政評価の必要性とあり方について講演会を開催 講師: 三菱総合研究所 主席研究員 田淵雪子 3 / 9 内容: 評価指標に設定の目的と19の指標を説明 推進会議、幹事会の同意を得て決定	
	17年度 予定	5 / 31 内容: 行動計画、評価指標の決定を受けて男女共同参画に関する認識を深め、全庁的な取組みを推進するため講演会を開催 講師: 静岡県立大学 助教授 犬塚協太 2月 内容: 行動計画掲載事業の進捗状況とこれに対する審議会の提言を踏まえ計画の進捗状況を公表	

3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等(例えば国の旧「男女共同参画審議会」に相当するもの)

会議の名称		静岡市男女共同参画審議会			
設置年月日		平成15年6月23日			
活動状況	16年度 実 績	5 / 14 内容:行動計画評価(評価指標)を検討するにあたり行政評価の必要性とあり方について講演会を開催 講師:三菱総合研究所 主任研究員 田淵雪子 6 / 18 7 / 9 9 / 19 1 / 28 2 / 18 内容:評価指標項目と目標値の審議 2 / 28 市長へ提言			

4 男女共同参画に関する計画

計画期間	平成 16 年 4 月 ~ 21 年 3 月				
名 称	静岡市男女共同参画行動計画				
策定年月日	平成 16 年 3 月 31 日				
計画の進捗状況把握の有無	有 ○ (公表 ○ ・ 非公表	/ 頻度	一 年に一度)	・ 無	
改定等の見直し	(改定が予定されている場合、新計画の策定予定時期:平成 年 月				

5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名称	静岡市男女共同参画推進条例			
	議会の可決日	平成15年4月1日			
	公布日	平成15年4月1日			
	施行日	平成15年4月1日			
無の場合	制定等について検討中	< 上程状況・検討状況 >		< 予定時期 >	
		議会に上程中・上程予定		平成	年 月議会
		制定に向けて検討中		平成	年度中 (月頃)
		その他検討中	あれば具体的に(		
		特に検討していない			

調査時点コード：審議会等委員の調査時点を選び、各欄にご記入ください。
「その他」を選択された場合にはこの欄の3に調査時点をご記入ください。

1 平成17年4月1日 2 平成17年5月1日 3 その他：平成 年 月 日

6 審議会等委員への女性の登用

目 標 値	20 年度まで 30 %	年度まで %	年度まで %
根 拠	静岡市男女共同参画行動計画		
対象となる審議会等の範囲	地方自治法第180条の5、第138条の4、第202条の3及び条例、規則等による設置		
目標の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード 1 審議会等数(106) うち女性委員を含む審議会等数(87)	延総委員等数(1,321) 延女性委員等数(322) 女性比率(24.4)	
うち法律または政令に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード 1 審議会等数(14) うち女性委員を含む審議会等数(8)	延総委員等数(396) 延女性委員等数(93) 女性比率(23.5)	
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況(＊)	調査時点コード 1 審議会等数(11) うち女性委員を含む審議会等数(9)	延総委員等数(420) 延女性委員等数(101) 女性比率(24.0)	
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード 1 委員会等数(6) うち女性委員を含む審議会等数(5)	延総委員等数(72) 延女性委員等数(10) 女性比率(13.9)	
目標値以外の目標設定	平成20年度までに附属機関等で女性委員のいない審議会の割合を0%にする		
女性登用方針	人材名簿作成の有無 有 ○ (公表 非公表 ○) ・ 無 ・ 作成予定有 人材名簿が有る場合 掲載人数 615 人 (平成 17 年 6 月現在) 媒体: 印刷物等および電子ファイル 対応OS: 専用端末 その他 人材育成事業の実施の有無 有 ○ ・ 無 委員の公募 有 ○ ・ 無 その他 ()		

(＊) 平成17年4月1日現在で設置義務のある審議会等のうち、平成17年2月に内閣府が把握したもの
(参照:別表1(都道府県)、別表2(政令指定都市))

調査時点コード：管理職の調査時点を選び、下欄にご記入ください。
「その他」を選択された場合にはこの欄の3に調査時点をご記入ください。

1 平成17年4月1日 2 平成17年5月1日 3 その他：平成 年 月 日

7 女性公務員の採用・登用状況

(1) 管理職の在職状況

		調査時点コード	
		1	2
		管理職総数	
		(人)	(人)
		うち女性管理職	
		(人)	(人)
		女性の割合	
		(%)	(%)
		部局長クラス	
		(人)	(人)
		次長クラス	
		(人)	(人)
		課長クラス	
		(人)	(人)
		管理職の内訳	
		(人)	(人)
		女性比率	
		(%)	(%)
本庁	計	327	6
	うち一般行政職	259	4
支庁・地方事務所	計	293	33
	うち一般行政職	125	5
再掲	警察本部		

(2) 女性公務員の採用状況

平成16年4月1日～平成17年3月31日

	総 数 (人)	うち女性数 (人)	女性比率 (%)
上 級	112	25	22.3
うち 警察本部			
中 級	97	71	73.2
うち 警察本部			
初 級	12	1	8.3
うち 警察本部			

(3) 女性登用・採用のための措置

*実施しているものに○を付してください。

1. 女性の採用目標の設定	具体的目標()
2. 女性の管理職登用目標の設定	具体的目標()
3. 女性職員の採用・登用に関する計画の策定	
4. 上記3の計画の策定、実施に実質的に関与する「女性職員の採用・登用拡大担当者」の設置	
5. 女性職員の採用・登用の状況や上記3の計画の進捗状況等に関する庁内の意見交換等の場の設置	
6. その他(内容: 男女の別なく、能力主義、実績主義に基づき適材適所の観点から登用)	

8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

名 称	静岡市女性会館 アイセル21			(単独施設 ☐ ・ 複合施設 ☒)		
設置年月日	平成15年4月1日 (旧静岡市による設置年月日 平成4年6月17日)					
管理・運営主体	都道府県・政令指定都市(担当部局: 静岡市総務局企画部男女共同参画課 財団・公社(名称:))					
職員数	常勤	5	人、非常勤	1	人	予算額 平成17年度 79,989 千円
主な事業	*実施しているものに○を付し、主な事項を記入してください。 ☒ 1. 広報啓発(主な事項: 講座、教室等の開催(健康増進に係る講座を含む)) ☐ 2. 調査研究(主な事項:) ☒ 3. 相談事業(主な事項: 相談室(カウンセリング・健康・法律)) ☒ 4. 交流促進(主な事項: 交流及び諸活動の指導及び助言) ☐ 5. 国際交流(主な事項:) ☐ 6. 健康増進(主な事項:) ☒ 7. その他(主な事項: 図書・資料等の収集、整理及び利用)					

9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称	なし	基金・基本財産額	
設置年月日		出資者	
主な事業	*実施しているものに○を付し、2の場合は主な事項を、3は名称を記入してください。 ☒ 1. 男女共同参画・女性のための施設運営(前項に該当する施設) ☒ 2. 直接事業(施設運営に該当するものを除く。) ☐ 広報啓発(主な事項:) ☐ 調査研究(主な事項:) ☐ 相談事業(主な事項:) ☐ 交流促進(主な事項:) ☐ 国際交流(主な事項:) ☐ 健康増進(主な事項:) ☐ その他(主な事項:) ☐ 3. 市町村・民間団体補助事業(名称:)		

10 民間団体(女性団体等)との連携

地方公共団体と民間団体(女性団体等)との連携

*該当するものに○を付してください。
☒ 1. 民間団体の組織化(へ)
☐ 2. 地方公共団体と民間団体との意見交換会の開催
☒ 3. 地方公共団体からの民間団体への各種情報提供
☒ 4. 地方公共団体から民間団体への助成金の交付
☒ 5. 地方公共団体から民間団体への事業委託
☒ 6. 地方公共団体と民間団体との共催事業の開催
☐ 7. その他(主な事項:)

民間団体(女性団体等)のネットワーク

各種女性団体 連絡協議会等 の結成の有無	有 ☒ 名称等	しずおか女性の会 しみず女性の会	加盟団体数	31 18
	無 ☐		会員数	8,000 4,000
ネットワーク活動	*実施しているものに○を付してください。 ☐ 1. 定例会議(情報交換会等)の開催 ☐ 2. 機関誌の発行 ☐ 3. 広報啓発パンフレット作成 ☒ 4. その他(内容: 団体・グループのネットワーク、講演会・フォーラムの開催、各種情報提供)			
動向	最近の民間団体の動向について記入してください。			

11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況

*該当するものに○をつけてください。	
☐ 1. 担当者連絡会議を開催	
☐ 2. 市町村職員研修会を開催	
☐ 3. 市町村アドバイザー養成講座等の開催	
☒ 4. 関係情報の収集提供	
☒ 5. 審議会等女性登用の働きかけ	
☐ 6. 補助金等の交付	名称: _____ 交付先: _____
☐ 7. その他(内容: _____)	

12 広報・啓発、調査等

男女共同参画・女性に関する広報・啓発、調査等(平成17年度予定)

年次報告・広報誌等	白書(名称未定) (市民向)Pas a pas (パザパ)、アイセル通信WAVE、(職員向)パートナー通信		
テレビ、ラジオの番組提供等			
インターネットホームページ	有	アドレス	http://www.city.shizuoka.jp/deps/kikaku/danjokyoudou/_private/topindex.htm
		情報内容	男女共同参画推進条例、男女共同参画審議会、男女共同参画行動計画、女性会館(アイセル21)等の情報提供や苦情・相談の申し出等の様式の配付
		情報発信元	静岡市
	無	今後開設する予定 (予定有りの場合) 開設予定時期	有 ・ 無
その他の広報・啓発活動	・啓発絵本「200さいのブタ」を発行し市内保育園・幼稚園に通う5歳児に配付 ・男女共同参画度を測る指標「成果のミカタ」を発行し、市内学校、幼稚園、保育園等に配付 ・条例パンフレット「変えよう 変わろう 私たち 静岡市男女共同参画推進条例」を発行し、市内の小学5年生に配付 ・入札参加資格申請事業者にチラシ及びパンフレットにより情報提供		
調査・研究	18歳から65歳の男女3,000人を対象にDV実態調査		

男女共同参画の視点からの広報・出版物のガイドライン等の策定状況

名 称	なし		
策定年月日	平成	年	月 日
(現在策定していない場合)今後の策定予定の有無		有	無 ○

14 担当局(部)課(室)所管の平成17年度男女共同参画・女性関係予算

事 項	16年度予算 (千円)	構成比(%)	17年度予算 (千円)	構成比(%)	備考
関係予算総額(施設整備費を除く)	74,792	100.0	85,926	100.0	
上記関係予算が一般予算総額に占める割合	0.03	%	0.035	%	
男女共同参画・女性のための施設整備費	0		0		
関係予算(施設整備費を除く)の内訳 * 記入欄が足りない場合は適宜増やしてご記入ください。ただし、その際は自動計算によって計算される小計欄・合計欄の計算式を調整願います。(計算式は消さないでください)					
1. 委員会・懇話会等の開催経費 (内訳)	1,381	2	920	1	
・ 男女共同参画審議会	1,036	1	690	1	
・ 女性会館運営協議会	345	0	230	0	
・					
・					
・					
2. 男女共同参画に関する条例・計画等の作成・改定経費 (内訳)	5,004	7	4,547	5	
・ 行動計画推進経費	4,043	5	3,495	4	
・ 男女共同参画推進経費	961	1	1,052	1	苦情処理経費を含む。
・					
・					
3. フォーラム・シンポジウム等の開催経費 (内訳)	11,336	15	32,684	38	
・ 事業推進経費	10,521	14	32,684	38	女性の相談に関する経費を含む。
・ ディベート大会開催事業費	815	1	0		
・					
・					
4. 人材育成研修・啓発講座等の実施経費 (内訳)	1,143	2	0	0	
・ 女性の人材育成経費	1,143	2			
・					
・					
・					
5. 市町村・民間団体補助 (内訳)	760	1	700	1	
・ 婦人団体連絡会運営費補助金	760	1	700	1	
・					
・					
6. 苦情処理、女性に関する相談に係る経費 (内訳)	0	0	0	0	
・					
・					
・					
7. 広報活動経費 (内訳)	0	0	0	0	
・					
・					
・					
・					
8. 国際交流・海外派遣事業経費 (内訳)	0	0	0	0	
・					
・					
・					
9. 男女共同参画・女性のための施設管理運営経費 (内訳)	55,168	74	47,075	55	
・ 管理運営費	55,168	74	47,075	55	
・					
・					
10. その他 (内訳)	0	0	0	0	
・					
・					
・					
・					

15 平成17年度実施予定行事

* 実施予定のあるものに○をつけてください。

(静岡県)

○ 1.委員会・懇話会の開催
○ 2.フォーラム・シンポジウムの開催
○ 3.人材育成研修・啓発講座
4.国際交流・海外派遣事業の実施
○ 5.男女共同参画週間、暴力をなくす運動の実施
○ 6.その他の行事

実施予定行事の内容 上記の行事内容をご記入ください。欄が足りない場合には適宜増やしてご記入ください。			
名 称	時 期	参加者数	行事内容 等
1.委員会・懇話会			
・ 男女共同参画審議会	年度中5回実施予定	12名	男女共同参画行動計画の進捗状況等について
・ 女性会館運営協議会	年度中2回実施予定	10名	女性会館事業について
2.フォーラム・シンポジウム			
・ 清水ネット発！市民フォーラム	H17.12～H18.2(の1日)	70名	市民活動グループのネットワーク組織との共催による、男女共同参画をテーマとしたフォーラム(毎年継続開催中)
3.人材育成研修・啓発講座			
・ 雇用管理セミナー	H17.6.29	200名	男女雇用機会均等月間行事として均等推進企業の表彰や均等法20年の歩みとポジティブアクションをテーマにした講談。静岡労働局・静岡県・21世紀職業財団静岡事務所との共催
・ 第7期アイセル女性カレッジ	H17.10.15～H18.3.25	30名程度	「レッツ チャレンジ ～女性の新しい働き方を探る～」結婚、出産、夫の転勤などで離職したために再就職に苦労している、職場で男女の賃金格差や処遇に納得出来ないまま働いている等様々な状況におかれている女性が、働くことの意味を考え、自分らしい働き方の可能性を探る。
・ 協働講座「女性の健康」	H17.10.2～H17.11.20	30名	女も男も、大人も子どもも、互いに人権人格を尊重しあい、健康でいきいき生活するために、家族やパートナー、そして自分自身の健康に目を向ける機会とする。静岡市食生活改善推進協議会中央地区との協働講座。
・ 男性料理教室	H17.5.29～H17.6.26	20名	男性を対象に、料理という生活の基本技能を学ぶことを通して、男女共同参画に対する理解と認識を深めてもらう。
・ 協働講座「子育て」	H17.9.10～H17.9.13	40名	1歳半未満の乳幼児とその保護者を対象に、「ベビーサイン」を通じてコミュニケーションをとり、子育てにより楽しくかわるきかけづくりにつなげてもらう。
・ 性教育出前講座	H17.7.5～H18.2.6	460名	中学生生徒、小中学生保護者を対象に、実施。男女お互いの「性と生」を認識することにより尊重し合い、豊かな人間関係づくりを目指すきっかけとなることを目的とする。
・ 協働講座「女性の自立」	H17.11～H18.2	25名	自信があるとかないかとかではなく、私が「私はこれでいいのだ」という自己肯定に向けてのグループワークを中心とした講座。
・ 中高年男性対象講座「50歳から考える わが人生の楽しみ方」	H17.9.3～H17.9.17(全3回)	30名	性別にこだわらずに力を抜いて職場や家庭や地域社会での自分らしい生き方を考えるとともに、生活力を身につけてもらう講座。
4.国際交流・海外派遣事業			
5.男女共同参画週間、暴力をなくす運動			
・ 男女共同参画週間街頭キャンペーン	H17.6.23	26名	静岡駅コンコースにて、男女共同参画啓発資料等を配布し、男女共同参画についての理解を呼びかける。(2000部)静岡県と共催。
6.その他			
・ アイセルシネマ館	H17.6.18	110名	映画「あの子を探して」を上映。上映前に、女性会館運営協議会委員による男女共同参画の視点を持った映画についての解説を実施。
・ グループカウンセリング(清水区)	H17.12～H18.2	20名	厳しい社会環境や身近な人間関係の中で、自分らしさを見失ったり、人間関係がうまくいかないことに起因する様々な悩みを抱える女性が、少人数で心の痛みや体験を語り、相互受容や共有を通して、自分らしさや新たな自分に気づく(機会とする)。
・ スマイルフェスタ2005inアイセル	H17.6.18.19(2日間)	延べ5,700名	日頃、子育て、人権、女性問題、女性・男性の自立、心とからだの健康など、様々な分野で活発に活動している48の団体・グループが、女性会館全館を会場に男女共同参画社会の実現に向け、講演、体験、発表、トーク、展示などのワークショップを開催し、市民に情報発信した。